

新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）
及び新規上場申請のための四半期報告書の適正性に関する確認書

2023年5月26日

株式会社名古屋証券取引所
代表取締役社長 竹田 正樹 殿

会社名 株式会社Q L Sホールディングス

代表者の 代表取締役社長

役職

氏名（署名）

雨田 武史

当社の代表取締役社長である雨田武史は、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書に不実の記載がないものと認識しております。

1. 新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書作成にあたり、「企業内容等の開示に関する内閣府令」、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」及び「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」等の関連法令に基づき、全ての重要な点において適正に記載されていることを確認しております。
2. 新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書の作成において、業務分担と責任部署が明確にされており、適切な業務体制が構築されております。
3. 毎月開催される定例取締役会及び必要に応じて開催する臨時取締役会において、重要な経営情報及び業務遂行状況が適切に報告されるとともに、経営上の重要事項の意思決定を適切に行っております。
4. 監査役は、取締役会への出席のほか、常勤監査役によるその他の重要会議への出席、各監査役の役割分担に応じた監査役監査の実施、日常の情報収集等を通じ、取締役会の意思決定及び取締役の職務執行が適正に行われていることを確認しております。
5. 内部監査室は、内部監査及び内部監査結果の報告の独立性を確保したうえで、内部管理体制の適正性や有効性を定期的に監査しており、指摘事項及び改善状況等について、その結果を代表取締役へ報告しております。
6. 会計監査人である監査法人コスモスによる監査において、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書の記載内容について、重要な指摘事項等がないことを確認しております。

以上